

## I 公開講座

毎年、市民向けの様々な公開講座を、本学および岐阜市生涯学習センターにおいて開催している。平成30年度に本学が実施した公開講座は以下のとおりである。

	講座名	担当教員	日時・会場	受講料	定員	受講者
岐阜市生涯学習センターとの連携講座	野球記事から読む昭和	英語英文学科教授 中西 満貴典	7月1日(日) 10:00～11:30 ハートフルスクエアG内大研修室	500円(全2回)	50	45
			7月29日(日)に変更 10:00～11:30 ハートフルスクエアG内大研修室		50	
	「こ食」の時代！ご家庭の食卓大丈夫ですか？	食物栄養学科教授 小野 廣紀	11月3日(土) 10:00～11:30 ハートフルスクエアG内大研修室	300円	50	31
「知」を探索する	電子技術による新しい相互依存による世界の再創造化 ―「ゲーテンベルクの銀河系」を読む―	英語英文学科教授 中西 満貴典	9月15日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス	1,000円	4講座 まとめて 2,000円	20
	ヘミングウェイと第二次世界大戦 ―『河を渡って木立の中へ』(Across the River and into the Trees, 1950)を中心に―	本学 名誉教授 山本 健一	9月15日(土) 13:00～14:30 ぎふメディアコスモス	1,000円		20
	神懸りと巫女―韓国珍島と沖縄伊良部島での調査から―	国際文化学科教授 川上 新二	9月22日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス	1,000円		20
	知られざるカナダの歴史―フランス語系カナダ人の歴史―	国際文化学科講師 荒木 隆人	9月22日(土) 13:00～14:30 ぎふメディアコスモス	1,000円		20
文化・文学	中国の古代詩を読む。	学長 杉山 寛行	5月19日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス	1,000円	20	17
	『新古今和歌集』の魅力	国際文化学科 准教授 村中 菜摘	5月26日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス	1,000円	20	10
	映画音楽の楽しみ ―『シェンブルの雨傘』1964、『ひまわり』1970―	本学 名誉教授 山本 健一	6月2日(土) 10:00～11:40 本学	1,000円	20	18

	講座名	担当教員	日時・会場	受講料	定員	受講者
生活デザイン講座	ストローで強い橋を作ってみよう—橋の仕組みを楽しく学ぶ—	生活デザイン学科 教授 服部 宏己	6月23日(土) 10:00-12:30 ぎふメディアコスモス	1,000円	10	16
	円形織機でコースターを作ろう	生活デザイン学科 准教授 太田 幸一	7月21日(土) 13:30-15:00 ぎふメディアコスモス	1,500円	15	7
	羊毛フェルトで帽子を作りましょう	生活デザイン学科 教授 村上 真知子	8月26日(日) 13:00-16:00 本学	1,500円	20	15
	「情報のデザイン」って何だろう?—分かる・伝わる「地図」を描いてみよう—	生活デザイン学科 准教授 小川 直茂	9月15日(土) 13:30-15:00 ぎふメディアコスモス	1,000円	15	5
	アームニットでふわふわスヌードをつくろう	生活デザイン学科 助教 柴田 佐和子	10月27日(土) 14:00-15:30 本学	1,500円	15	8
	建築空間と光	生活デザイン学科 助教 臼井 直之	12月2日(日) 16:00-17:30 ぎふメディアコスモス	1000円	20	24
	ウール素材に、ニードル羊毛をあしらひオリジナルなひざ掛けをつくりましょう	生活デザイン学科 准教授 中谷 友机子	12月2日(日) 13:30-15:00 ぎふメディアコスモス	1,600円	20	18
	絵を描いてアクセサリーをつくろう —プラ版とレジンのピンバッジ—	生活デザイン学科 講師 坂本 牧葉 助手 古閑 早央里	2月23日(土) 13:30-15:00 本学	1,500円	15	4
資格試験対策講座	管理栄養士国家試験受験対策講座	食物栄養学科 教員	9月25日から11月6日まで毎週火曜日 計6回 19:00~21:00 本学	1,500円/回	20	50
	繊維製品品質管理士(TES)受験対策講座	生活デザイン学科 准教授 太田 幸一	10月~7月の原則第2金曜日 19:00~20:50 全10回 (うち平成30年度は6回) 本学	1,500円/回	20	9

## 1) 岐阜市生涯学習センターとの連携講座

### 公開講座 1 野球記事から読む昭和

講師名：英語英文学科 教授 中西 満貴典

開催日時：平成 30 年 7 月 1 日（日）10：00～11：30

平成 30 年 7 月 29 日（日）10：00～11：30

（当初開催予定の 7 月 8 日は大雨特別警報発令のため 7 月 29 日に順延）

会場：ハートフルスクエア-G（大研修室）

受講者数：45 名

戦前の日米野球（昭和 6 年、読売新聞社主催）の詳細を当時の世相と関係づけながら話を展開した。講座は二回に分けて行い、一回目（「昭和初期の野球人気と世相」）は、東京六大学野球への人びとの熱狂ぶりを描いた（早慶戦では、慶大が優勝すれば銀座は興奮の坩堝と化した）。また、当時は不況のどん底、若者の就職難、さらには受験地獄（旧制中学、旧制高校入試）などの社会の出来事を新聞記事から読み解いていった。二回目は「日米野球と戦争」を主題とした。満州事変の勃発、国内外の政情が渾沌とするなか、大リーグ選抜チームを招聘して日米野球が開催された。各地の試合模様を中心に、社会・文化面の諸相も併せて追体験していった。

## 公開講座2 「こ食」の時代！ご家庭の食卓大丈夫ですか？

講 師 名：食物栄養学科 教授 小野 廣紀

開催日時：平成30年11月3日（土）10：00～11：30

会 場：ハートフルスクエアG

受講者数：31名

「こ食」は、現代人の食卓事情を言い表した言葉です。「こ食」には、「孤食」・「個食」・「子食」・「固食」・「小食」・「粉食」・「濃食」など、漢字で書き表すと7つの「こ食」があり、どれも現代人の食生活の問題点を浮き彫りにした言葉です。

今回は、とくに「孤食」に注目して、「孤食」の実態について、多様なデータを基に、わかりやすく解説し、その問題点を挙げた。また、その関連事項として、本学学生による「高齢者世帯への支援活動の取り組み」についても紹介した。

講座終了後に行われた受講者アンケートから、受講者の学びへの強い思いと感謝の気持ちが伝わってきた。



## 2)「知」を探究する

### 公開講座3 電子技術の新しい相互依存による世界の再創造化 —『ゲーテンベルクの銀河系』を読む—

講師名：英語英文学科 教授 中西 満貴典

開催日時：平成30年9月15日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス（かんがえるスタジオ）

受講者数：20名

テレビの出現によるメディア環境の新時代の幕開けを見た1960年代初頭の著、『ゲーテンベルクの銀河系』を読むことを通じて現代のコミュニケーション問題を提示した。歴史的に、伝達媒体の発明（文字の発明や活版印刷術の発明）によって、表現の仕方や思考様式は大きく影響を受けてきたと言われている。本講座では昨年に引きつづき、マーシャル・マクルーハン著『ゲーテンベルクの銀河系』の読解をこころみた。今回は、「電子技術による新しい相互依存は、世界を地球村のイメージに創りかえる」の一節を中心に取り上げた。テレビ時代の幕開けにおける半世紀前の論考が、現代のメディア空間を考えるうえで、どのようなヒントを与えてくれるのか探ってみた。

## 公開講座 4 ヘミングウェイと第二次世界大戦 —『河を渡って木立の中へ』(*Across the River and into the Trees*, 1950) を中心に—

講師 名：英語英文学科 名誉教授 山本 健一

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日（土）13：00～14：30

会 場：ぎふメディアコスモス

受講者数：17 名

はじめに第二次世界大戦（ヨーロッパ戦線：1939-1945）の概略を紹介した。第一次世界大戦（1914-1918）終了後、連合国側（イギリス、フランス、アメリカなど）は敗戦国ドイツに対し過大な賠償金などを要求したこと、また 1929 年の世界恐慌の悪影響などによってドイツ経済は破綻の危機に瀕した。困窮したドイツ国民の不満の受け皿としてヒトラーが登場し、ファシズム（全体主義）が台頭する情勢となった。ドイツ勢力の拡大と欧州再編の野望を抱いたヒトラーは 1939 年にポーランドに侵入し、ヨーロッパは第二次世界大戦（1939-1945）に突入することになる。この講座では、戦傷者 5 千万人以上と言われる第二次世界大戦がなぜ始まり、どのような経過を経て終戦に至ったかを概観した。

同時に、ヘミングウェイの『河を渡って木立の中へ』(*Across the River and into the Trees*, 1950) という小説に描かれた彼の戦争体験に言及した。主人公キャントウェル大佐は、第二次世界大戦では、連合軍最大の激戦地となったフランスのノルマンディー上陸作戦に参加し、パリ解放に際しては、大歓迎を受けたこと。その後、ドイツ軍を追撃してベルギーに入り、さらにドイツ領内に侵入して、ヴェストバルの戦いに参加したこと。そしてヒュルトゲンの森の攻防戦など、第二次世界大戦の戦場で体験した悲惨な話を中心となっている。ヘミングウェイの小説に描かれた戦争体験に言及しつつ、彼と第二次世界大戦の関わり方を検討した。

受講者の約 8 割はシニア世代の方々であり、歴史に対する関心が高く、熱心に受講していた。今後とも高齢者を含めた公開講座を開講し、生涯学習の意義を高める社会貢献の一端を担うことができると考えている。

## 公開講座 5 神懸りと巫女 —韓国珍島と沖縄伊良部島での調査から—

講師名：国際文化学科 教授 川上 新二

開催日時：平成 30 年 9 月 22 日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

受講者数：11 名

神霊とかかわる宗教者のなかに巫女とよばれている者がいるが、同じく巫女とよばれても、神懸りをする者としめない者とがいます。神懸りする巫女は神霊に移られたり、神霊の姿を見たり声を聞いたりする。神懸りしない巫女は神霊に祈願するのみで、このような体験はしない。韓国珍島と沖縄伊良部島でもこのような 2 種類の巫女が活動しており、それぞれ住民の信仰を支えている。

韓国珍島では、神懸りしない巫女が伝えてきた神霊への祈願のための儀式が国から無形文化財に指定されている。その一方で近年、神懸りをする巫女の活動が活発になっており、神懸りしない巫女を圧倒する状況であった。しかし神懸りする巫女のなかから、神懸りしない巫女が伝えてきた無形文化財としての儀式を学ぶ者が出てきており、無形文化財という「力」が、神懸りする巫女をもひきつけて、神懸りしない巫女が伝えてきた儀式を活性化させている。

沖縄では集落の祭事を担当するのは神懸りしない巫女であり、個人的な占いや各家での神への祈願をするのは神懸りする巫女とみられてきた。しかし伊良部島では、集落の祭事を担当する巫女にも神懸りする能力があり、集落の祭事を受け持つ期間を終えた後、各家での祈願を行っている者もいる。住民は集落の祭事を担当した経験のある巫女を経験のない巫女よりも高く評価している。伊良部島では集落の祭事を担当する者に対する住民の評価が、巫女の評価に影響を与えている。

## 公開講座6 知られざるカナダの歴史 —フランス語系カナダ人の歴史—

講 師 名：国際文化学科 専任講師 荒木隆人

開催日時：平成 30 年 9 月 22 日(土) 13 時 00～14:30

会 場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

受講者数：13 名

本講義の目的は、多民族国家カナダにおいて、現在総人口の約 5 分の 1 を占めているフランス語系カナダ人の歴史を辿りながら、多文化共生の知恵を学ぶことであった。フランス語系カナダ人は、1774 年のイギリスによる植民地支配以来、英語系カナダ人による同化の圧力を受けながらも、カナダ連邦の中でその言語と文化を保持してきた。1960 年のフランス語系社会の近代化をきっかけに、フランス語系はカナダ連邦政府に対して政治的な自己主張を行うようになる。その動きは連邦政府を動かし、連邦政府が多文化主義政策を生み出す原動力となった。また、現在では、社会の統合への強い関心を持つフランス語系カナダ人社会は新しい社会統合政策である間文化主義を生み出しており、その意義についても講義した。講義後は、受講者からは活発な議論が行われた。



### 3) 文化・文学

#### 公開講座 7 中国の古代詩を読む

講師名：学長 杉山 寛行

開催日時：平成 30 年 5 月 19 日（土）10:30～12:00

会場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

受講者数：17 名

中国の詩は、唐代の詩を中心に、日本でもよく知られ、日本文学にも大きな影響をあたえてきた。しかし今日では、唐代において完成を見る詩が、そのような過程を経て、完成へと至っていったのか。またどのような詩がその間生み出されていったのか、については、一般にはあまり知られていないようである。そこでこんかいは、詩経・国風、樂府詩、漢代の古詩をとりあげ、その特徴の一端を知ることにつとめた。

## 公開講座 8 『新古今和歌集』の魅力

講 師 名：国際文化学科 准教授 村中 菜摘

開催日時：平成 30 年 5 月 26 日（土）10：30～12：00

会 場：ぎふメディアコスモスかんがえるスタジオ

受講者数：10 名

『新古今和歌集』は勅撰和歌集のなかで最も文学的水準が高いとされている。本講義ではその魅力を紹介するため、まず作品成立の時代背景、『古今和歌集』に始まり『新古今和歌集』に至る勅撰和歌集の流れおよび特徴に触れることから始め、本歌取りの技法を中心に、代表歌人の作品世界を味わっていただいた。

『新古今和歌集』成立の背景には、天皇を頂点とする朝廷文化が、武家政権によって根底から覆された混乱の時代に、貴族文化の象徴である和歌によってその優位性を示そうとする後鳥羽院の強い思いがあった。『新古今和歌集』は『新・古今和歌集』であり、和歌の王道であり手本である『古今和歌集』を超えるものとして、極限まで美的表現を追求した結果の産物である。そこには『古今和歌集』に代表される古き良き貴族文化の伝統を、新しい表現を用いて甦らせる詠みぶりが見てとれる。本講義はこうした作品世界の魅力を分かりやすく伝えるべく行ったものである。

## 公開講座 9 映画音楽の楽しみ

### —『シェルブールの雨傘』1964、『ひまわり』1970—

講師名：英語英文学科 名誉教授 山本 健一

開催日時：平成30年6月2日（土）10：00～11：40

会場：岐阜市立女子短期大学

受講者数：18名

はじめに、カトリーヌ・ドヌーブ主演のフランス映画『シェルブールの雨傘』からミシェル・ルグラン作曲（1963）の透き通るまでに哀切なラブ・バラードの名曲「シェルブールの雨傘（Les Parapluies de Cherbourg 1963）」（英語版では I will wait for you）と、ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ主演のイタリア映画『ひまわり』から、人生の切ない愛と別れの哀しみを感じさせるヘンリー・マンシーニの世界的なヒット曲「Sunflower（I Girasoli）1970」（英語版では Loss of Love）の主題歌2曲を選び、英語の歌詞が持つ深い意味を読み解いた。さらに、それぞれの名曲を鑑賞しながら、映画と映画音楽の豊かな世界を楽しんだ。

続いて『シェルブールの雨傘』と「Sunflower（I Girasoli）」を含む映画音楽の時代を映し出す名曲を数曲ほど全員で合唱しながら、青春時代の懐かしい映画音楽の世界を受講者とともに楽しむことができた。

地域社会を支える教育機関として、岐阜市立女子短期大学が持つ知識や技能を岐阜市民の方々に還元することを目標に、今後も市民公開講座を担当し、生涯学習推進の一助としたい。

## 4) 生活デザイン講座

### 公開講座 10 ストローで強い橋を造ってみよう ー橋の仕組みを楽しく学ぼうー

講師名：生活デザイン学科 教授 服部宏己

開催日時：平成 30 年 6 月 23 日（土）10:00～12:30

会場：ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：16 名

本講座は、小学生を主として、建築物（構造物）がどのような仕組みで剛強に造られているかを知ることが目的として毎年開催している。その基本を知るため、最も明快な橋梁を制作し載荷実験することによって理解を深める。講座の最初に写真や図を用いて橋梁の種類や仕組みを説明し、小学生にも分かるようにその合理性を感覚的に理解できるようにしている。その後、細くて弱いストローを用いて、各々が橋の模型（ストロー橋）を制作する。様々な色のストローを使用することによって、そのデザインにもこだわった橋を制作する。完成後には、一人ずつ順に自らが造ったストロー橋の載荷実験\*を行い、何百グラムの荷重に耐えられるかを競いあう。今年は、2650g の荷重に耐えた橋が最大であった。子供ならではの発想で、奇抜な橋の制作に取り組んでいた。実験では、普段強さを感じられないストローがこんなにも重い重りに耐えられるのを見て、誰もが驚いていた。この体験を通して構造物への興味が高まることを期待したい。



ストロー橋の実験状況\*

\*：載荷実験装置は、函館工業高等専門学校「作って競って楽しめるストロー橋の強度試験装置」を参考としている。

## 公開講座 1 1 円形織機でコースターを作ろう

講 師 名：生活デザイン学科 准教授 太田 幸一

開催日時：平成 30 年 7 月 21 日（土）13：30～15：00

会 場：ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：7 名

通常の織機はたて糸とよこ糸が直交し四角形の織物を作成するが、円形織機はたて糸相当の糸を円形フレームに放射線状に張り、その糸の間をよこ糸相当の糸を織り込んでいくもので、文字どおり円形の織物を作成するものである。ドイツなどを中心にハンドクラフトの分野で注目されていることから、今回円形織機を用いたワークショップを企画した。参加者には刺繍枠を加工した円形織機を用いてコースターの作成に取り組んでもらった。

円形織機は参加者に持ち帰ってもらい、自宅などでもコースターなどの作成が楽しめるようにした。



## 公開講座 1 2 羊毛フェルトで帽子を作りましょう

講 師 名：生活デザイン学科 教授 村上 眞知子

開催日時：平成 30 年 8 月 26 日（土）12：30～16：00

会 場：岐阜市立女子短期大学

受講者数：15 名

羊毛の縮絨性を利用して、縫製することなしに、また繊維の状態から糸、布にすることなしにフェルト帽子という成形品をつくる講座である。羊毛繊維の特性、形状、太さなどの特徴を簡単に説明したのち、帽子づくりの概要を説明し、制作に取り掛かった。

材料・道具は市販の染色済羊毛スライバー約 80 グラムのほか、エアパッキングの帽子型、ペットボトル、ポリエチレン手袋、立体帽子型にするための直径 18cm（これで、周囲が 56 センチメートルという頭囲になる）の鍋のほか、河田制帽さんから頂いた、プラスチック製の帽子型で、身近にあるもので簡単に作ることができる。また、羊毛の温度を 40℃ほどにキープして縮絨を進めるために、電子レンジも使用した。写真は、帽子型の上に羊毛を並べ、ペットボトルに入れた洗剤をかけて、これから摩擦力を加えようとするタイミングである。

受講生の皆さんは、ほぼ立体の形にするところまでを会場で制作し、最後の仕上げは各自にお願いした。



## 公開講座 13 「情報のデザイン」って何だろう？ － 分かる・伝わる「地図」を描いてみよう －

講師名：生活デザイン学科 准教授 小川 直茂

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日（土）13：30～15：00

会場：みんなの森 ギフメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：5 名

文字や図版などの情報の表現（造形／色彩／配置構成）を、伝えたい対象や内容に即して最適化する情報デザインの概念について、事例を交えて解説した。講座の後半では、メディアコスモス 2 階の図書館スペースを事例として、初めての来館者を目的の場所へと誘導するための地図のデザイン提案に取り組んだ。講座受講およびワークショップを通して、講座参加者は情報の表現方法の重要性や工夫に対する理解を深めていた。

## 公開講座 14 アームニッティングでふわふわスヌードをつくろう

講師名：生活デザイン学科 助教 柴田佐和子

開催日時：平成 30 年 10 月 27 日（土）14：00～15：30

会場：岐阜市立女子短期大学

受講者数：8 名

編み物は、一般的に編み棒や編み針を使用して編んでいくが、アームニッティングは、それらの道具を使わず自身の腕を利用して編んでいく。そのため、子供から大人まで気軽に編み物を体験することができる。また、編目の一目一目が大きいいため、比較的簡単に大きな作品を短時間で作ることができる。

受講者はいずれも編み物初心者であったが、それぞれが好みの色の毛糸で作品を作り上げることができた。





## 公開講座 15 ウール素材にニードル羊毛をあしらいオリジナルなひざ掛けをつくりましょう

講師名：生活デザイン学科 准教授 中谷友机子

開催日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）13：30～15：00

会場：ぎふメディアコスモス

受講者数：18 名

羊毛の絡み合う特性を活かし、羊毛をニードルでウール素材に付着させて、独自の図案を描きオリジナルなひざ掛けを製作する企画の公開講座を開催しました。

はじめは、不安ながら製作されていましたが、羊毛がウール地に付着し綺麗な図案が出来上がるのを見られ、大変楽しみながら製作されました。

ひざ掛けのウール地は 70 cm×70 cmのアルパカ混を使用しました。その為、羊毛が付着しやすく、受講者は熱心にオリジナルな図案を考案し、素敵なひざ掛けを完成していました。

## 公開講座 16 建築空間と光

講師名：生活デザイン学科 助教 臼井 直之

開催日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）16：00～17：30

会場：みんなの森 ギフメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：24 名

建築空間と光との関係について解説した。講座ではまず、建築空間の捉え方について説明した。そして、歴史的な建築でどのように光が扱われているかを、西洋と日本とを比較しながら例示した。

受講者には建築を見る際の一つの視点を獲得して頂けたのではないかと考える。



チラシ



講座の様子

## 公開講座 17 絵を描いてアクセサリーをつくろう —プラ板とレジンのピンバッチ—

講師名：生活デザイン学科 専任講師 坂本 牧葉、助手 古閑 早央里

開催日時：平成 31 年 2 月 23 日（土）13：30～15：00

会場：岐阜市立女子短期大学 3-504

受講者数：4 名

油性マーカー、クレヨンなどでプラスチックシートに絵を描き、加熱・縮小したものに金属パーツを接着してオリジナルアクセサリーを制作する講座を行った。受講者はプラスチックシートにヤスリ掛けをして色鉛筆で彩色したり、レジンをつけてツヤや立体感を出したりするなど、さまざま画材を用いながら、多様な表現に挑戦した。



## 5) 資格試験対策講座

### 公開講座 18～23 管理栄養士国家試験受験対策講座

講師名：食物栄養学科の教員

開催日時：平成30年9月25日（火）19：00～21：00 から開始

毎週火曜日、全6回

会場：岐阜市立女子短期大学（1-401 教室）

受講者数：のべ50名

例年、管理栄養士国家試験の受験対策の一助になればと考えて、本学において管理栄養士国家試験受験対策講座を開講している。

各教員が自分の専門分野に関して、過去に出題された国家試験の問題を題材に、出題の傾向と対策について、わかりやすく解説を行った。

受講生には、本学の卒業生のほか、他大学を卒業された方もいた。各講座終了後に実施した受講生に対するアンケート調査によると、受験対策講座は受講生に好評であった。

		科目（内容）
第1回	9/25	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（生化学） 基礎栄養学
第2回	10/2	社会・環境と健康（公衆衛生学） 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（解剖生理学）
第3回	10/9	食べ物と健康（食品学・食品加工学）
第4回	10/16	食べ物と健康（食品衛生学・調理学）
第5回	10/23	栄養教育論 公衆栄養学
第6回	10/30	臨床栄養学 応用栄養学

## 公開講座 24～29 繊維製品品質管理士（T E S）受験対策講座

講 師 名：生活デザイン学科 准教授 太田幸一

開催日時：平成 30 年 4 月 13 日（金）～7 月 13 日（金） 19：00～20：50

平成 30 年 10 月 12 日（金）～31 年 3 月 15 日（金） 19：00～20：50

会 場：岐阜市立女子短期大学 生活デザイン Lab1（3-505）

受講者数：9 名

「繊維製品品質管理士（T E S）」は、繊維製品を取り扱う専門家に与えられる資格で、アパレル製品生産・管理分野での技術者には重要な資格となっている。7 月に行われる試験に向け、月 1 回、全 10 回の試験対策講座を計画し、昨年 10 月からの開講分について引き続き 4 月から 7 月までの 4 回実施した。「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」「事例研究対策」「論文試験対策」について、実際の事例を交え解説を行った。本学卒業生 6 名と地元企業の染色技術者 1 名は 7 月の試験を受験し、5 科目中 3 科目の合格となった。残りの 2 科目については次年度再受験の予定である。

また、今年度新規分として、10 月から 3 月までの 6 回実施した。10 月からの講座では、岐阜市周辺の地元アパレル企業およびクリーニング企業の技術者 6 名が参加し、「繊維に関する一般知識」「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」について、出題傾向を示しながら要点の解説を行うとともに、実際の業務内容で生じた事例についても解説を行った。さらに 3 月以降は本学卒業生 3 名が新たに受講することとなった。なお、受講生は 7 月の試験を受験予定である。